

枚方革新懇は十月二三日 第5回代表世話人会を開きました。

「国政革新を語りあうつどい」のまとめと情勢討論を行いました。国会では補正予算可決（十月十六日）新テロ特措法改正案衆院可決（二一日）など、民主党は後期高齢者医療を含む補正予算に賛成し、新テロ特措法改正案の審議抜き可決を促進、政権願望のみで与党にひたすら解散を求め、政権をとれば憲法解釈の変更を狙っている。

国会論戦は、労働者派遣法を99年の改悪前に戻せ、後期高齢者医療制度廃止へ、汚染米問題、貸し渋り貸しはがし問題、戦争支援をやめよなど課題山積だが、審議時間が少ない。

国民要求は、十月五日青年大集会（四六〇〇人）、十月一六日年金一揆（東京人三〇〇〇人全国一万人）、十月十九日反貧困世直しイッキ（二〇〇〇人）、十月十九日安心できる医療・介護をめざす中央集会（六〇〇〇人）、十月二二日全商連決起集会（三五〇〇人）など草の根から大きく吹き上げている。経済問題は、国際金融危機の中、金融支援ではなく「景気対策は国民生活の方に向けよ」の声をあげよう。

総選挙は革新三目標の方向でお互い奮闘を誓い合い、民主党には「新テロ特措法案の徹底審議と廃案を求める要請」を提出しよう、など話し合いました。

## 「新テロ特措法」の徹底審議をつくし

### 反対を貫くことを求める要請書

アメリカによるアフガニスタン攻撃が始まって7年が経ちました。7年間のアフガン戦争で全土が荒廃し、多くの罪もない市民の命が奪われ続けテロはなくなり空爆で民間人の被害はますます増大しています。

この法案は、昨年の国会で大問題になり国民の多数が反対し、参議院が否決した法律を衆議院の3分の2の多数で再可決しゴリ押ししたものです。憲法をめぐる重要法案であるのに、与党と貴党の合意によって、審議をわずか2日間で採決するなど異常とも言うべき国会運営です。

国連の現地特別代表は「いま必要なのは『軍事の増派』ではなく『政治の増派』だ」と強調し、駐留英軍司令官でさえ「軍事的勝利は不可能だ」という事態です。アフガンでは、親米カルザイ政権が空爆の中止を求め、タリバン勢力に対話を呼びかけ交渉が始まるなど1年前からの情勢は変化しています。国際社会のこのような変化を見ずに、アメリカいいなりの派兵継続は即刻やめるべきです。

日本が提供した油がアフガンの人びとの殺戮に使われていることに私たちは深く心を痛めています。この7年間は逆にテロと報復の悪循環を引き起こし「戦争でテロはなくなる」ことが多くの国民の実感です。

民主党は当初どおり「新テロ特措法」反対を貫き、政府与党をおいつめるまでがんばってください。私たちは、貴党に当面次のことを期待しています。

「新テロ特措法」は徹底審議を尽くし、廃案にすること。

イラクからもインド洋からも自衛隊を直ちに撤退させること。以上

衆議院議員 平野博文 様

平和、民主、革新をめざす枚方の会（枚方革新懇）

衆議院議員 平野博文氏には事務所を訪問し、秘書の蒲池氏と面談の上、手渡し 参議院議員 高嶋良充氏には、速達で郵送しました。